



生徒のみなさんへ…グッド・ルーザーたれ！



例年、体育祭を前に思い浮かべる言葉は「グッド・ルーザー」という言葉です。

日本語で言うと「良き敗者」です。敗れた時、うまくいかなかった時こそ、相手をリスペクトし、^{いきぎよ}潔くあれという考え方です。

体育祭では個人種目や学年種目でたくさん「グッド・ルーザー」に出会えます。

全力を出し切って、競技を終えることができたからこそ、負けても一様に表情もさわやかに、潔く負けを受け入れ、対戦相手や同じ学級の友だちに感謝を伝えることができるのだと思います。

いい加減な気持ちや態度で臨んだ人には、決して見られない「グッド・ルーザー」たる姿は、見ていてとても^{すがすが}清々しいものです。

スポーツには運、不運はつきものです。不運な時であろうと、緊張の中で不本意なパフォーマンスに終わった時であろうと、悔しい気持ちを抑えて、勝利した対戦相手を^{ただ}称え、競技役員や支えてくれたスタッフ、応援してくれた周囲の方々に感謝の気持ちを表現できるかどうかで、その人が「良き敗者」すなわち「グッド・ルーザー」であるのか、そうでないのかがわかるものです。

勝ったときには、誰でもうれしくて満面の笑みで周囲に接することができます。しかし、負けたときにこそ、「真のトップアスリート」は勝者である対戦相手を称え、周囲にも配慮した言動ができるものです。そして、そういう「グッド・ルーザー」は、勝ったときには敗者を思いやることもできるのです。

いよいよ明日は体育祭です。どの学級も練習を頑張ってきました。でも、優勝するクラスは各学年で1クラスです。大半の学級は敗者となりますが、その時は潔く負けを認め、勝者をたたえる姿を明日は期待します。

さて、もう30年くらい昔のことですが、1992年バルセロナオリンピックのマラソン競技での出来事を私は今でも忘れられません。それは、当時メダルを期待されていた谷口浩美選手が、22・5キロ付近の給水所で水を手にした直後、左足のかかとを後続選手に踏まれ、転倒。すぐに立ち上がり、脱げた左足の靴を急いで履き直し、レースに戻りますが結果は8位。

このあとのインタビューで、普通なら泣けて話せないところですが、谷口選手は、清々しい笑顔で、こう話しました。「こけちゃいました！」と。

この悲壮感のない、素直に負けを認めた谷口選手の姿が、本当に潔くてかっこよく見えました。そして、勝負というものは、時の運で実力を発揮できない時もあるということを改めて教えてくれたことを思い出します。

～学校指定物品について～

学校指定物品とは、学校の教育活動に必要な物品のことで、学校がその銘柄・規格・販売店を指定し、保護者の方に販売店（楠中では、衣料品組合のお店＜衣料のサカクラさん、森本衣料店さん＞）で購入していただいています。

本校指定物品には、制服、体操服、スクールバック、ウインドブレーカー、スリッパなどがあります。物価上昇が進むなか、学校では、保護者の方の利便性や経済的負担の軽減が図れるよう、今後も、衣料品組合さんや関係者等と物品の仕様などを検討してまいります。本校の制服、体操服について、ご参考までに、市内中学校の平均価格と合わせて提示させていただきます。

概ね1型、2型の制服とも平均的な価格で、ジャージは安価となっています。保護者のみなさまからのご意見等ございましたら、PTAやお電話等で学校までお知らせください。

＜1型制服＞市の基準額(令和3年の平均値)27,000円（詰襟学生服を含む）

本校(詰襟学生服)最安値 25,000円 / 最高値 32,000円

※売れ筋は27,800円で、最安値(ポリエステル100%)のものとは比べ、生地が良くて長持ちするそうです。

＜2型制服＞市の基準額(令和3年の平均値)31,000円（セーラー服等を含む）

本校(上衣襟あり)最安値 28,800円 / 最高値 31,500円

＜体操服(ジャージ)＞市の基準額(令和3年の平均値)10,000円

本校 7,900円（サイズによって価格の差異があります。）

＜体操服(半袖トレシャツ・ハーフパンツ)＞市の基準額(令和3年の平均値)6,000円

本校 5,300円（サイズによって価格の差異があります。）